

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果

沓見小学校

国語

○は良好、▲は課題

<全国の傾向として>

○資料を用いる目的を理解したり、目的や意図に応じて、資料を使って話したりすることはできている。→ 本校は▲

▲目的に応じて、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見つけて読むことについて、引き続き課題がある。→ 本校も▲

さらに…

<本校では>

- 文の中における修飾と被修飾との関係を捉える
- ▲文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する
- ▲目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約する
- ▲自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える
- ▲文の中における主語と述語との関係を捉える

という傾向でした。



複数の資料を結びつけて考えをまとめたり表現したりすること、文章を読み取ることに課題があると考え、次のような取り組みをします。

- ・ 説明文の授業で、資料と文章とを結びつける活動を積極的に取り入れます。
- ・ 授業のまとめを工夫します。自分の考えを資料を使って効果的に伝える力を伸ばすために、プレゼンテーション活動にも挑戦させます。
- ・ 文章読み取りの基本となる主語と述語の対応、文章全体の構成、要約などの指導を繰り返し行っていきます。

算数

<全国の傾向として>

▲速さと道のりを基に、時間を求める式に表すことはできているが、速さを求める除法の式と除法の意味を理解することに課題がある → 本校も▲

▲「データ活用」の領域について、帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を記述することに課題がある。→ 本校は○

ところが…

<本校では>

- 三角形の面積の求め方について理解している
- データを二次元の表に分類整理することができる
- 集団の特徴を捉えるために、どのようなデータを集めるべきかを判断することができる
- 示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断することができる
- ▲小数を用いた倍についての説明を解釈し、ほかの数値の場合に適用して、基準量を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述できる

となりました。

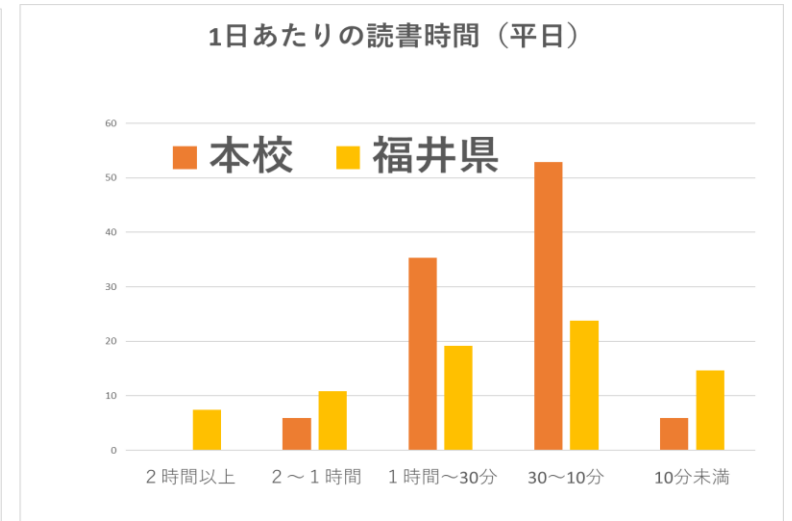
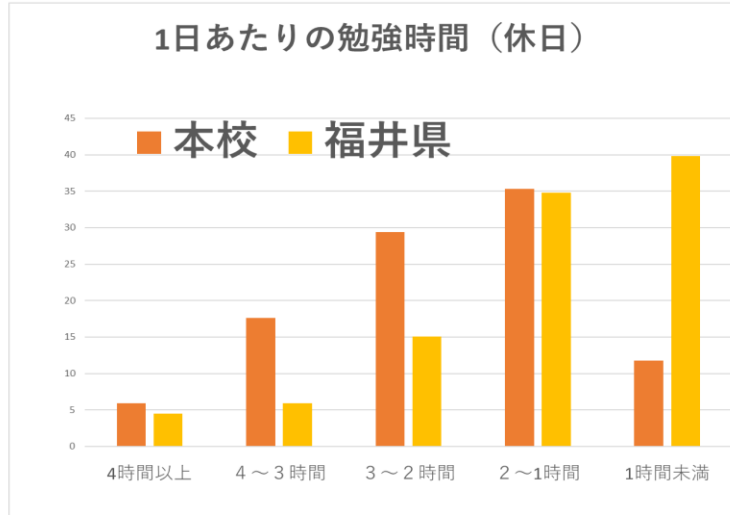
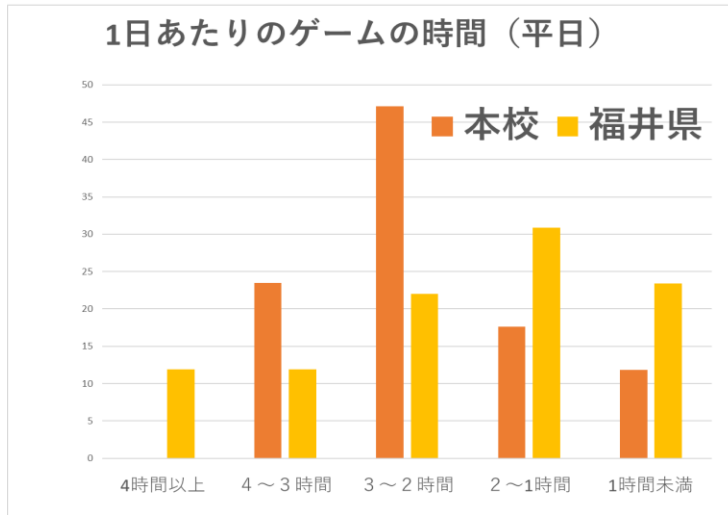


算数では、単位量あたりの学習や割合の学習につまずきがあると考えられます。どちらも日常生活に見られるものなので、生活場面と結びつけていくことを心がけます。

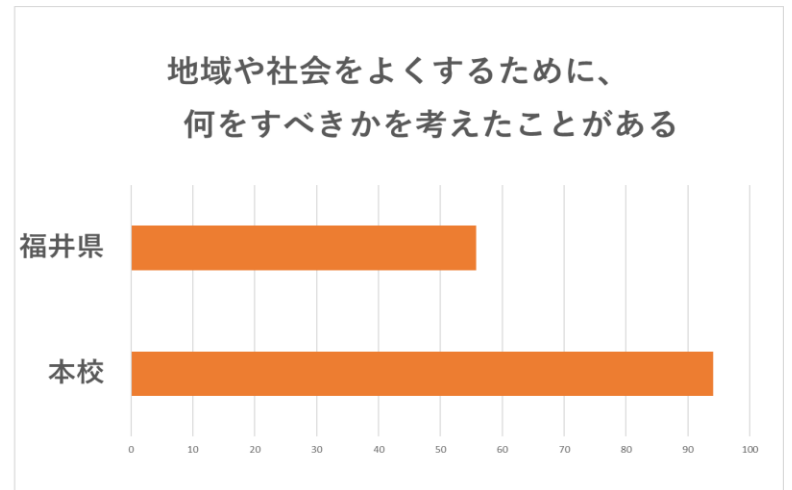
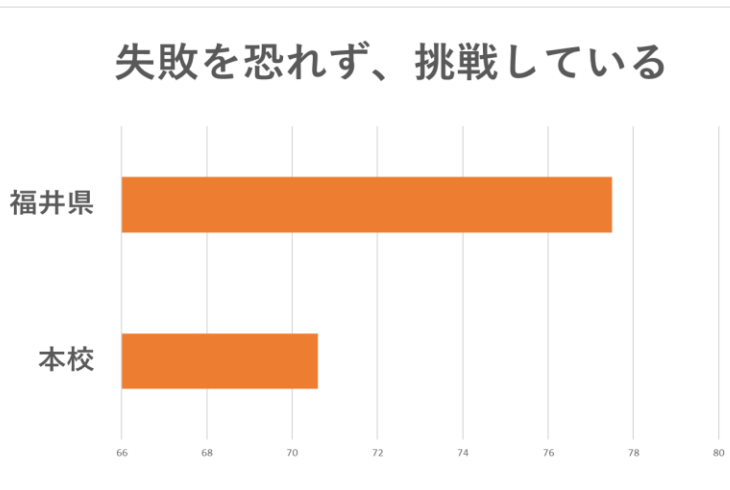
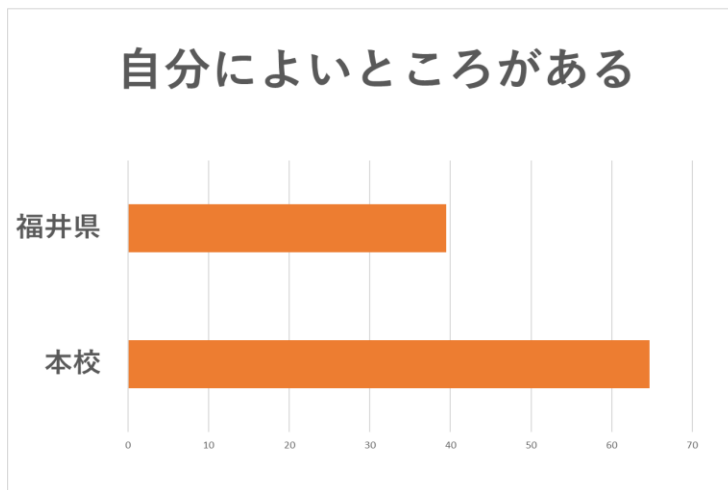
- ・ 国語では課題となった「複数のデータを結びつけること」が、算数ではできていました。この力を国語にも広げられるように、グラフや表などの統計資料を作成したり読み取ったりすることに取り組みます。
- ・ 2つの量の数量関係を説明することが苦手です。教科書に例示されている図などをもとに、自分でかいたり聞いたものを説明したりする活動にも挑戦させます。

生活調査の結果から

本校児童の特徴を表していると思われるものを抜粋して紹介します



ゲームの時間が長いようですが、休日の勉強もしっかりしているようです



自己肯定感が高く、地域への貢献意欲も高いです。挑戦意欲を高めてくれることを願います。